

## 校長よりメッセージ『竜北生、G o !!』（竜北生の皆さん・保護者の皆様へ45）



### 「確率」の問題

校長 尾崎 淳一

私は元・国語教師ですが、今日は数学の難問を出題したいと思います。

#### ① 3枚の500円玉を投げるとき、全て「表」になる確率を求めなさい。

正解は「 $1/8$  (8分の1)」です。3枚投げると、【表表表】【表表裏】【表裏表】  
【表裏裏】【裏表表】【裏表裏】【裏裏表】【裏裏裏】の8種類の組合せがあり、全て「表」  
は【表表表】の組合せ1種類だけですので、 $1/8$ の確率ということになります。表  
と裏が出る確率はそれぞれ $1/2$ と考えられますから、計算では、 $1/2 \times 1/2 \times$   
 $1/2 = 1/8$ となるのです。

#### ② サイコロを3回振ったとき、全て「1」が出る確率を求めなさい。

①の問題と同様に考えてみましょう。1から6までの目から「1」の目が出る確率  
は $1/6$ です。それを3回振るのですから、 $1/6 \times 1/6 \times 1/6 = 1/216$ と  
なります。もしも4回振るとすれば、もう一度 $1/6$ を掛けることになるので、確率  
は $1/1296$ とぐっと下がります。

「愛知県公立高等学校」全日制一般選抜の学力検査は、「2023年度公立高校入試」  
からマークシート方式に変更となり、今回が4回目となります。マークシートと聞くと、  
私たちの時代の大学受験を思い出します。当時の国公立大学には、2段階の入試がありました。  
どの大学を希望しても受験しなければならない「共通一次試験」と、各大学が出題する  
「二次試験」です。このうちの「共通一次試験」が全てマークシート方式で、4~6  
個の選択肢から問題の趣旨にあったものを解答シートにマークしていきます。何となく  
簡単そうに思えるし、適当にマークすれば当たる気がして、かなり甘く見ていましたね。

しかし、現実は上にある問題のとおりで、**まぐれ当たりや神頼みの正答は「至難の業」**  
なのです。まして、宝くじの一等を当てて大金持ちになろうなど、夢のまた夢ということ  
に気付きますね……。記述式だらうとマークシート方式だらうと、しっかりと学力を身に  
付けなければ勝負できないのは変わりません。竜北3年生の皆さん、目前に迫った高校入試  
に向けて、**ラストスパートをお願いします**。ここからが勝負の分かれ目ですから！



さて、最近、「竜北賞」の受賞者が増えてきました。「周りの仲間に親切に接した竜北生」「学年や学級のために小さな取組を始めた竜北生」「得意なことを生かして活躍した竜北生」など、理由は様々ですが、全員に共通していることがあります。それは、校長室で話を聞く時に、「**皆、いい顔をしている**」ということです。そんな素敵な竜北生と話す時間は、日々、激流に流されて生きている私にとって、貴重な「**憩いのひととき**」なのです。

9日（金）に校長室へお招きした写真の2名は、下校途中の自損事故で軽傷を負い、自転車も壊れて困っている面識のない竜北生を積極的に救助した、**正義感に溢れる1年生**です。素晴らしいですね。私も、もしもの時は助けてくださいね。約束ですよ！

皆で創る温かい学校。「**自分も大事、他人も大事**」を合言葉に、**「竜北生、G o !!」**

本格的な受験シーズンを迎えました。保護者の皆様にとっても、緊張の日々が続くこと  
と思います。これまでのお子様の努力を信じて、温かい眼差しで見守っていきましょう！